

踏 み 跡 <My Mountains>

北アルプス

乗鞍岳周辺散策の山旅

No.334

新島々から平湯方面に向かう途中の山中に白骨温泉（しらほねおんせん）という不思議な名前の温泉がある。中里介山の「大菩薩峠」にも登場し、その名ゆえに一度行ってみたいと思っていた。江戸時代に開かれた古い温泉で白船温泉と言っていたが、付近にある鍾乳洞の鍾乳石が白骨に似ているところから白骨温泉と名を変えたらしい。せっかく山奥の行き止まりの宿へ行くのなら二泊して見ようと思い、今回の旅を計画した。

平成 28 年 7 月 27 日（水） 千葉＝快晴 白骨温泉＝晴（夜雨）

久しぶりに真面目に、朝食抜きで 6 時半に出発。ホンダシャトルに乗り換えて初めての遠出で、燃費が楽しみのひとつでもあった。千葉北 IC から高速に入って快適に走るうちに、燃費計は 28Km/l を表示。

期待に胸を弾ませていると首都高速の渋滞にはまったが、40Km/h 位の流れはあるので気にはならなかった上に、瞬間値として 31Km/l を越える燃費も達成できた。

談合坂 SA で朝食と長い休憩。快晴の日差しが暑く眩しい。いつものように、トンネルを抜ける度に視界が変わり、飽きることのない中央自動車道の旅が続く。



このまま高速道路を走っていくとサービスエリアでの昼食になってしまうので、変化を求めて諏訪 IC で下に降りることにした。

（写真左：諏訪湖上川河口付近から 鉢伏山・高ボッチ方面は雲の中）
諏訪湖畔の散策で息抜きをした後、湖畔を岡谷まで走って塩尻峠を越えて 19 号線へ。広丘で 19 号線を離れて松本空港の南端をかすめて山形村へ。「唐沢そば集落」の看板に魅かれて昼食を決断したが、入った店がよくなかった。落語「時そば」に出て来るような美味くない手打ち蕎麦でがっかり。

波田で 158 号線に入り、梓川に沿って南西へ。波田はすいかの産地で観光客目当ての果物・野菜の店が並んでいるので、帰路での購入の下見を実施。

新島々を過ぎると兩岸の山の高さが増して 2000m 級になり、しかも谷が狭くなる。南岸は鉢盛山（2446m）北岸は黒沢山から引く尾根の天狗岩。徳本峠への道を分けると北岸の山は小嵩沢山（2387m）になる。

奈川渡のトンネルで野麦街道を左に分けて北西に進むようになる。

前川渡で乗鞍への道を分けて数キロで沢渡（さわんど）。ここは夏の交通規制期間中の上高地方面へのバスの乗換拠点となる所で、巨大な駐車場とその周りに点在する宿やお店の数に驚く。

沢渡を過ぎると、北岸の霞沢岳が覆いかぶさるようになってくる。霞沢発電所の前あたりから湯川に沿った細い道に入り南南西に進むと、喧騒から遠く離れた深山幽谷の領域になってしまう。

やや心細い山峡まで来ると看板が導いてくれ、白骨温泉に到着。二泊予定の宿の所在を確認したが、確かに我が泊る宿の奥には一軒の宿と後の山しかない。

まだ時間が早いので、乗鞍高原へ抜けるスーパー林道の偵察に行くことにした。スーパー林道の正式な名前は「上高地乗鞍林道」と言うらしい。湯川の対岸に渡り、何度もカーブを繰り返しながら山肌を上っていくと見晴らしの良い場所に出た。真北に霞沢岳、その左に焼岳などが見える筈だが、大きな雲の中で見えず、下半分だけの霞沢岳がその大きさを示していた。

蛭窪トンネルという不気味な名のトンネルを抜けて長い下りを注意深く走ると乗鞍高原の観光センターの横に飛び出した。広い駐車場があり、ここでシャトルバスに乗り換えなければ山には入れない。

地図を眺めながらアイスクリームをなめてひと休みし、白骨温泉に戻った。

白濁の牛乳を薄めたような温泉はさほど熱くないので、ゆっくり浸かって体の中から温めるのが良いようだ。せせらぎの音しか聞こえない暗く静かな夜は、山峡の宿らしくてよい。

平成 28 年 7 月 28 日（木） 晴（朝は雲の中、やがて晴）

朝風呂の後、朝食前の散歩。白骨温泉は急な斜面にへばりつくように宿が建っており、早朝の散歩を試みたがどこへ行くにも急峻な坂道ばかりで、あまり遠くへは行けない。

9 時前に出発、昨日下見をした蛭窪トンネルを経て乗鞍高原へ。霞沢岳は今朝も上半分は雲の中。この山の名が付いた訳がわかって良いが、たまには全身を見たい気もする。

乗鞍観光センター前の駐車場に車を止めて、9 時半発のバスに乗る。夏休みとは言え平日のせいか、心配し

踏 み 跡 <My Mountains>

たほどの混雑はなかった。豊平（海拔 2770m）まで 50 分程の行程で、往復 2500 円。

乗鞍高原の樹林を抜けると快晴の碧い空が広がり、岩場の色とのコントラストが美しい。

豊平は一面の霧の中で、風の流れによってはバスの姿をも見失うような霧の濃さだが、一瞬で晴れて豪快な青空に戻ったりもする。晴れ渡れば直射する高山の日射、霧に包まれれば長袖シャツでは足りずウィンドブレーカーが必要な涼しさで、衣装の選択に困る。

地元の方が案内してくれる「豊平お花畑鑑賞」のツアーに参加することにした。

豊平は、恵比須岳と大黒岳にはさまれた窪地で、今年は冬季の降雪量が少なく春の融雪が早かったので残雪はなく水の流れもない。例年だと今頃はまだ残雪が見られるので、高山植物の育ち具合にも多少影響が出ている様子。植物観察の話もさることながら、乗鞍岳を巡る自動車道の経緯を聞いて驚いた。平湯から豊平までが開通したのが最初で、次に東側の松本方面からのルートが整備され、いずれも軍事用レーダーのためにできた軍用道路だったとのこと。

ヨツバシオガマ・キンポウゲ・ハクサンイチゲなどが主力ではあるが、花卉の色艶から見ると盛りを過ぎた感じがする。チングルマも花を終えてクルマの形になっているので、早期融雪により植物の季節は実際の季節より進んでしまっているように感じた。

豊平のレストハウスで昼食を済ませた後、亀ヶ池を一周して見ることにした。コマクサの群落があったり、イワギキョウが岩場の隙間ばかりか道路のアスファルトの隙間からも出ていたりで、存分に楽しむことができた。



<上段> ヨツバシオガマ

豊平遠景

豊平花畑

<中段> ハクサンイチゲ

ミヤマキンポウゲ

コマクサ

<下段> ヤナギラン ウサギギク イワギキョウ ウメバチソウ オンタデ

14 時 30 分のバスで乗鞍高原へ下り、アイスクリームをなめてしばし休憩。まだ時間が早いので、車で入れる範囲を走りながら散策して見ることにした。

休暇村前まで上り牛留池の看板に魅かれて遊歩道に入って見た。静かな林間にある小さな池は水面に樹林をきれいに映して、味のある景色だった。すずらん橋の下のスキー場の縁でヤナギランの群落を見つけて撮影して本日の行程を終り、蛭窪トンネルを抜けて白骨温泉へ。

週末が近付いたせいかな宿泊客もかなり増えていた。

踏み跡 <My Mountains>

平成 28 年 7 月 29 日 (金) 白骨温泉=晴 長野県・山梨県=快晴

土産物を探しながらゆっくり帰宅することにして宿を出発。国道 158 号線を走ると、対向車線を走る車が多く、長野県外のナンバーの車が目立つ。

波田に立ち寄り、往路で下見しておいた野菜系の土産を購入。次は穂高町まで足を伸ばして大王わさび農場の見物とワサビアイスクリームの体験。そして、わさび農場の近くで見つけた蕎麦やで手打ち蕎麦の昼食。



灼熱の太陽の下に広がる安曇野、その向こうにドーンと横たわる蝶ヶ岳から常念岳・大天井岳あたりまでの稜線。

(右写真：右=常念岳 左=蝶ヶ岳方面)

碓氷美術館もと思ったが時間の関係でやめて、犀川に沿ってのんびりと南行。左の車窓に。鉢伏山と高ボッチが大きくなってくると塩尻が近い。

甲府以西へ車で出かけると必ず帰りに通るルートがある。茅ヶ岳の裾野を横切る茅ヶ岳広域農道。このルートをとると景色が楽しめるし、新鮮な果物や野菜を売っている店に出会うことができる。

塩尻峠を越えて諏訪湖へ、そして諏訪 IC から中央自動車道に入り、須玉 IC まで。須玉 IC で下りて茅ヶ岳の裾野を明野に向かって上って広域農道へ。

農場や地域が営む野菜・果物の直売店を何件か覗いて買い物をしながら、窓を開けて外の空気を感じて高度を下げて行く。いつものように宮久保から 616 号線に入り県道 6 号線経由で甲府市内へ、そして武田神社入口・愛宕山を通過して国道 20 号線へ。国道沿いの果物屋で桃を買って勝沼 IC から中央自動車道に入った。

以上

